第十号の四様式(提出・控用)

法人市民税の更正の請求書

_ 受付	印									
		左	F 月	日	※ 処	発 信 年 郵便官署消印	月 日 確認印	管理番号		
**					理	<u> </u>	1年中の日1	法人番号		
岩	国市	長	殿		事項				1 1 1 1 1 1	
所 在	地及	び	₸							
電	話番	号					(電話	_	· —)
(ふ	りがっ	な)								
法	人	名								
(ふ	りがっ	な)								ŒĪ)
代 表	者氏。	名印								(Fl)

地方税法第

条

の規定に基づき、次のとおり更正の請求をします。

		• • •			_ , ,		,		, ,
更正の請求の対象となる 事業年度又は連結事業年度		年	J	1	目から		年	月	日まで
	摘	要	要更正の請求前		求前	更正の請求後		差引税額	
課税標準	法人税法の規定によって計算した法人税額				円		円		
	試験研究費の額に係る法人税額の特別控除額 ②								/
	国家戦略特別区域において機械等 の法人税額の特別控除額	3							
	還付法人税額等の控除額	4							
	退職年金等積立金に係る法人税額								
	課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額 (①+②+③-④+⑤)								
	分割基準従業者数(岩国市分/全従業者数)			/	人	/	人	/	/
	分割法人における課税標準となる法人税額又は個別 帰属法人税額(⑥×⑦)								
	算出法人税割額 (⑥又は⑧×税率 /100)							/	
	外国の法人税等の額の控除額							/	
人税	仮装経理に基づく法人税割額の指	空除額	11)					/	
割	租税条約の実施に係る法人税割額の控除額							V	
	差引法人税割額 (⑨-⑩-⑪-⑫)								
均等	算定期間中において事務所等を有	育していた月数	14)		月		月		
守割	均等割額		15						
	合計市民税額(13)+	- (15)	16						
注 の	第 20 条 の 9 の 3 第 1 項更正の請求の場合	法 定	納	期	限		年	月	日
∜ ±	: 第 20 条 の 9 の 3 第 2 項	第1号の判	〕決等	きの確う	定 日		年	月	日
	の更正の請求の場合	第2号の更正	• 決定 [*]	等のあっ	た日		年	月	日
の更正の雨水の場合		第3号の政令で定める理由の生じた日			じた日		年	月	日
	★ 第 321 条 の 8 の 2 の 『正の請求の場合	国の税務官	署の更	[正の通	知日		年	月	日
求	『正の請求をする理由及び請 《をするに至った事情の詳細 一の他参考となるべき事項								
	E 結 親 法 人 の 本 店 所 在 地 で電話番号	〒				(電話			
~	(ふ り が な)					(电前			
	は結親法人の名称			Laste C.					~
	昼付を受けようとする □ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	(金融機関名)		・支店名)			小学	(口座都	¥号)
纽	融機関	卸	行		平占	・支店	当座・電	地	

•			
•			
•			
;			
:			
;			
ŀ			
•			